

「日本の戯曲研修セミナー」@オンライン2023

村山知義
MURAYAMA
TOMOYOSHI

村山知義(1901年~1977年)劇作家、演出家、舞台美術家。1901年、東京神田に生まれる。1918年、第一高等学校に入学(久保栄と同学年)、その後、東京帝国大学文学部哲学科に進学するが、ベルリン留学に伴い退学。1923年に帰国し、美術集団マヴォを結成。築地小劇場の舞台装置を担当し、演劇の世界へ。プロレタリア演劇運動の渦中にて劇作・演出を行う。1932年、検挙され、転向。1934年、新劇の大同団結を唱え、新協劇団を設立。戦後、「死んだ海」三部作を作・演出・装置。1959年、東京芸術座を設立。日本演出者協会初代理事長。

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

オンライン版

死んだ海を読む

2023
11/ 7 火
11/17 金
11/18 土
11/19 日

18:00 - 21:30

[会場] Zoom

一般社団法人
日本演出者協会



東京芸術座 1969年公演

「死んだ海」三部作

日本の戯曲研修セミナーオンライン企画第4弾として、村山知義作「死んだ海」三部作を取り上げます。『死んだ海』(1952年7月)『真夜中の港』(1952年12月)『崖町に寄せる波』(1953年12月)という三部構成の戯曲として発表・上演され、村山流のリアリズムを実践した作品として知られています。今回のセミナーでは、ディスカッション参加者がそれぞれ担当する部について、気になった点や考察を簡単にプレゼンした上で、戯曲を声に出して読みながら、全体でディスカッションをしていきます。ゲストトークとして東京芸術座の北原章彦氏を招いて演劇人・村山知義について、レクチャーでは演劇批評家の高橋宏幸氏を招いて『死んだ海』のドラマツルギーについてお話しいたします。オンラインで、世界のどこからでもご参加いただけます。多くの方のご参加をお待ちしております!

を
読
む
!

ディスカッション見学者募集!